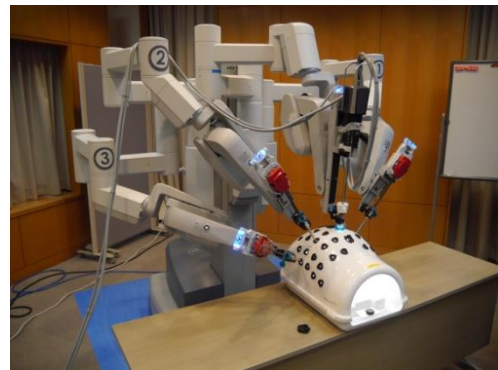


地域医療支援センターだより

低侵襲手術支援ロボット「ダビンチ」導入しました。

11月8日(水)内覧会
開催の様子



北陸放送の取材を受ける泌尿器科南医師

12月から当院でもダビンチ使用での手術が開始されます。そこで、11月8日に一般公開という形でダビンチの内覧会を開催し、地域の先生方含め多くの方にご参加いただきました。

参加者には腹腔鏡下手術体験の後に続けてダビンチの操作を体験していただきました。体験された方々からダビンチの操作性の良さについて驚きの声を多数いただくうれしい結果となりました。

現在の診療報酬では、前立腺がん及び腎臓がんの部分切除に対して、保険適用がされています。PSA検査で異常値が見られる患者さまについては、当院泌尿器科にご紹介ください。生検やMRIなどの精査を行い、必要に応じて「ダビンチ」を使用しての手術を行います。

また、今後の診療報酬改定によっては他の手術にも保険適用が広がる可能性があるため、当院でも注意していきます。

前立腺摘出術でダビンチを使用した場合の患者様のベネフィット

従来の開腹手術と比較して

- ・正確な切除
- ・よりよい神経温存手術
- ・入院期間の短縮
- ・出血の抑制、輸血の必要性の低減
- ・カテーテル留置期間の短縮
- ・より早い回復、日常生活への復帰
- ・合併症リスク、傷口の感染リスクの低減

従来の腹腔鏡下手術と比較して

- ・勃起神経温存した場合はより良好な勃起機能に回復
- ・排尿機能のより早い回復
- ・出血の抑制、輸血の必要性の低減
- ・直腸損傷の危険性の低減

EOL(エンド・オブ・ライフ)ケア研修会を開催しました。



南砺市民病院院長 清水先生

11月27日(月)に南砺市民病院院長の清水先生をお招きして、EOLケア研修会を開催しました。

清水先生は日本臨床倫理学会でもご活躍されており、法律や倫理など外部の専門家を招いての臨床倫理委員会を開催するなど、先進的な取り組みをされています。

当院医師も臨床倫理についての悩みが多かったようで、熱い意見交換となっていました。

当院でもエンドオブライフケアや臨床倫理については、研修会など積極的な取り組みを実施していきたいと考えています。

